

7月を迎えました。早いですね。

これに比例するかのうに こどもたちの成長ぶりが早いです。

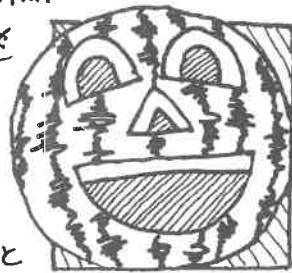
どの子も 新しいクラスに、学年に、おとこだちに慣れて来て、自分を
その環境の中で発揮してくれるようになりました。

1学期は残り少ないですが、2学期の飛躍に向けて準備を万全にします。

■つぼみのおとこだたち、自由あそびの
時間には全員が園庭へ出たあそびが
多くなってあります。

年少児から年長児の色とりどりのカラー帽子の
中に深みどりの帽子が楽しそうに広がってます。

身近な年少児たちのあそびを見て、2輪の
乗り物に上手になって来たおとこだたちを
増えて来て見て、うれしいです。



ホールでの体操も月を追って
育ちがあります。からだがかきかきと
動けようになって来て 教師の指示にもみんなで
テキパキと反応してくれるようになってきました。

こうなると こどもたちの吸収する力が出てきた
ので、2学期が楽しみになってきました♡

うんどう会でござんください！

■ゆがせんせいがグルービーカードを作ってくれ
ました。年中組と年長組で活用しております。
音符が読めてリズムを知ります。

●●●●●の例ですが、1小節毎に
色々と内容を変えてフラッシュカードのように見せ
ながら、こどもたちはリズムを覚えます。

年中児たちは音程を読めるよう
になりました。

やがて年少児たちと経験させ
たいですね。

こどもたち、教師の話しを聞く
力があるので、吸収力が早いです♡

■年長児たちの「お泊り会」は夏休みに
開催されます。

説明会を7月8日(月)に行います。
午前10時30分 はじまりで午前中です。

(心の育ちシリーズ)

ほめるより励まし叱るより諭そう

「ほめる事も大切だが、励ます事の方がほめるかに大切！」と言っているの
は、教育者 坂本光男先生です。

ほめるのはたいてい良い結果が出た時ですね。しかし、励ますのは、たとえ良い
結果ではなくても、その中にある可能性をみつけ出して、希望をみせてあげる事な
のです。

年長児のAさん、くり返しくり返し土まわりの練習していて、3歩か4歩で転んでしま
います。「Aさん、転びそうになったら、自分の指を使ってかまんでみよう！ まだまだ
あるから！」と言って励ましてあげると、土まわりに希望が見え味ます。

年長児のBくん、時々おとこだちに舌はらしてしまいます。強い調子で「やめなさい！」
「だめでしょ！」と言った教師いけば、親といるでしょう。不十分です。
「どおして舌はらしたの？」と、いねい聞いてあげ、その原因解決に努め、「もしも自分
がされたらどう思う？」と考えさせ、「自分が女兼ねることは、おとこだちだって兼ねるだ
と！」と、その子の意志を育てるようにしてあげて、その子の自立に結びつけてあげる方が、
結果につながるでしょう。

これは、叱るよりも諭してあげることが大切と言っているのです。

「励ます」と「諭す」は判断力を身につける力に
なる。小学生としての「ものの見方」、「考え方」、
「感じ方」を育てる営みにとなり、自立へむけての
大切な力、要素になるのです。